業界横断EDI仕様V1.1の修正について

　業界横断EDI仕様V1.1は、JEDICにおいて参加業界（電気、自動車、化学、中小企業）の合意を得て発行したものであり、内容についての修正は原則行わない。

　ただし、編集上の間違い及び国連CEFACT CCLとの不整合の調整はこの限りではない。

　業界横断EDI仕様V2.0（共通部分）の設定においては、上記の原則に従い、確定注文／注文回答の情報項目につき国連CEFACT CCLとの不整合の調整を行った。

1. 曖昧さを避けるため、確定注文／注文回答情報項目を分離して整理。
2. ヘッダーの文書クラスに「文書名」を入れ、確定注文以外にも対応できるようにする。
3. 国連CEFACT CCLとの整合化のためクラス順序を修正（発注品クラスを最後に）。
4. 明細行確認納入クラスは、注文回答情報だけにふくめる。
5. 明細行要求納入クラスの下に納入場所クラスを追加（V1.1では明細行確認納入クラス）。
6. 注文回答情報より明細行回答納入クラスを削除（明細行確認納入クラスに回答結果）。
7. 確定注文情報・発注品クラスの補足情報ファイルの有無は特定のプログラム処理のためにあり、意味情報定義としては望ましくない（CCLにも無い）。よって、当インジケータを取り除き、図面・仕様クラスの「図面・仕様情報」に補足情報ファイル当のファイル名やアクセス情報を記載するようにした。
8. 注文回答情報・明細行クラスの回答単価については、単価クラスの単価区分コードに「回答単価」を追加することで国連CEFACT CCLと整合化する。

なお、良く使われそうな単価区分コードは次の通り。



また、データの扱いにおいて曖昧さを除き、情報不足を補うために次ぎの１点の追加を行った。

1. 取引の識別（発注番号等）と伝票（メッセージ）の識別を分離して扱う必要があり、注文情報文書クラス／注文回答文書クラスに伝票番号を追加。

　以上の修正により、業界横断EDI仕様V1.1の意味情報を保ちつつ国連CEFACT CCLとの整合化がなされる。